

第6章 小海線（小諸～小淵沢）

第1節 概要

2021年10月11日（月）から始まる3泊4日の小海線踏破の旅、色々な悪環境もあったが、天や神のご加護そして地元の人などのお世話になり、何とか有言実行できる。この路線は、数年前から、中央本線と元信越本線を繋ぐ路線のため、何とか踏破したいと考えていた。その夢が実現でき、感謝・感激・感動で一杯となった。これで通算営業キロは**1万2千638 km（歩き日数615日、日本の鉄道の45.6%）**となる。また、只今現在の今年の暦年営業キロは1,047km（歩き日数49日）となり、昨年の実績（1,046.4km、歩き日数46日）を僅かであるが超えた。歩く鉄道作家として嬉しい限り。



※小淵沢駅で小海線踏破！！（2021年10月14日（木）15時7分）

なお、この路線を踏破したいと考えていた頃から、“小海線”を”小梅線”と勘違いして記憶。誤りは、10月11日（月）佐久平駅で始めて小海線の活字を見ても依然気付かず。10月12日（火）、列車の中のアナウンスで「小海駅」と

あり、やっと錯覚が発覚した次第。恥ずかしい限り。「人生思い込みは実に恐ろしい」と改めて勉強させてもらった。



※佐久平駅

小海線（営業キロ 78.9 km）は、八ヶ岳高原線でもあり、二つの顔を持つ路線であった。すなわち、小諸駅から小海駅までの 30.6 km 区間は通常の平原を走る路線。一方、小海駅から小淵沢駅までの 48.3 km は野辺山や清里高原などの高原を走る路線。それ故、野辺山駅（標高 1,345m）や清里駅（標高 1,274m）の辺りからは、悪天候の影響などから、近隣の山々が全く見えなかった。その一例が、野辺山駅界限から JR 最高標高地点（1,375m）まで、フラットな地盤を走る鉄道を左手にして”鉄道つたい歩き”できた。恰も平野を歩いているような錯覚もした。

て佐久海ノ口駅と4駅登場する。昨年10月踏破した大糸線でも”海ノ口駅”が登場。また、2017年11月歩いた飯田線でも”大海駅”が登場。駅舎のネーミングには色々な経緯があるのだろう。一方、2019年12月踏破した吾妻線でも海や島もないのに、祖母島（うばしま）が付く駅名がある。駅舎名の由来は、歩く鉄道作家として実に興味津々の課題となった。



※野辺山駅から清里駅までの路線図

第2節 旅プラン

小海線の旅 (78.9 km)

○2021年10月11日(月) 快晴

あさま607 大宮 10:09 → 佐久平 11:13

佐久平 12:03 → 小諸 12:19

小諸～東小諸～乙女～三岡～美里～中佐都～佐久平 (営業キロ 7.4 km)



東横イン佐久平駅浅間口泊 (0267-66-1045)

○10月12日(火) 曇り

佐久平 7:01 → 海尻 8:12

海尻～松原湖～小梅～馬流～高岩～八千穂～海瀬～羽黒下～青沼～臼田～龍岡城～太田部～中込～滑津～北中込～岩村田～佐久平 (29.4 km)

東横イン佐久平駅浅間口泊

○10月13日(水) 曇り/雨

佐久平 7:01 → 海尻 8:12

海尻～佐久海ノ口～佐久広瀬～信濃川上～野辺山～清里 (24.6 km)



清里館泊 (0551-48-2026)

○10月14日(木) 晴れ

清里～甲斐大泉～甲斐小泉～小淵沢 (17.5 km)

あずさ44号 小淵沢 16:36 → 八王子 18:11

第3節 1日目：10月11日（月）：小諸～佐久平 快晴

2021年10月11日（月）快晴、小海線踏破の初日は、佐久平駅まで新幹線で行き、そこから小海線（非電化、単線）を乗り継いで、小諸駅に移動する。佐久平駅で途中下車し、本日から2日間宿泊する”東横イン佐久平駅浅間口”にリュックを預け、身軽な格好で、浅間山を鑑賞しながら、小海線の小諸駅から佐久平駅までの営業キロ7.4kmに挑戦する。



※大宮駅、今回の乗車券・特急券、佐久平駅



※佐久平駅



※小海線佐久平駅



※佐久平駅、駅から見える東横イン、小海線車両

小諸駅は元信越本線踏破の際立ち寄った駅舎なので、懐かしい思い出が蘇る。今回の小海線の旅で、小海線をどう踏破するか迷いに迷った。一つは、4泊5日にするか3泊4日にするか。二つ目は、どこで宿泊するか。三つ目は、それぞれの歩きコースをダイヤと宿泊先を勘案しながらどのように設定するか。大変だが、旅行プランを考えるのも旅の楽しみの一つである。色々推敲に推敲を重ねた結果、既にご紹介したブログにあるような旅行プランとした。今考えると、最適なプランであったような気がする。もし、小淵沢駅をスタートにしていたら、ダイヤの関係に加え、野辺山駅から海尻駅など、難関エリアが登場し、「3泊4日の日程ではクリアできていないかも知れない」と胸を撫でおろす。



小諸駅



※小諸駅、小諸そば

小諸駅で名物の”小諸そば”を賞味し、佐久平駅を目指す。各駅舎到着時刻は次の通り。

小諸 (12:26) ～東小諸 (13:20) ～乙女 (13:48) ～三岡 (14:15) ～美里 (14:57)
～中佐都 (15:44) ～佐久平 (16:08)

①小諸駅で観光協会 (12時45分) に立ち寄り、本日の歩くコースの道筋を入手する。概ね鉄道の左側を歩くイメージであった。小諸駅から乙女駅までは、小海線としなの鉄道 (元信越本線、電化) が並走していたので、誤ってしなの鉄道に行かないよう用心して歩く。また、本日のコースは営業キロ7.4kmの間に佐久平駅を含め6駅舎あるため、未踏破にならないよう、細心の注意を払うことを余儀なくされた。12時52分、赤坂橋を通過。13時4分、小諸南町バス停 (花バス) を通過。古びた通路を潜って行った先に本日の最初の東小諸駅 (13時20分) があった。



※東小諸駅への路



※東小諸駅

②地図を見る限り、鉄道の右側でも乙女駅に行けそうであったので挑戦する。しかし、数分歩いた先で袋小路となり引き返す。運よく地元の人に対面でき、乙女駅への道筋をお伺いできる。「鉄道の右側からも行けますが遠回りですよ。鉄道下を横切って、鉄道の左側に出た方が近道で分かりやすいですよ」と。この助言を得て、引き返す。ロスタイムは約5分。地図を見ながら淡々と歩いた先に乙女駅(13時48分)があった。操矢川に面し、道路から10m位下にあった。この駅はしなの鉄道踏破の際、通過した駅で懐かしくなった。



※乙女駅への路、操矢川

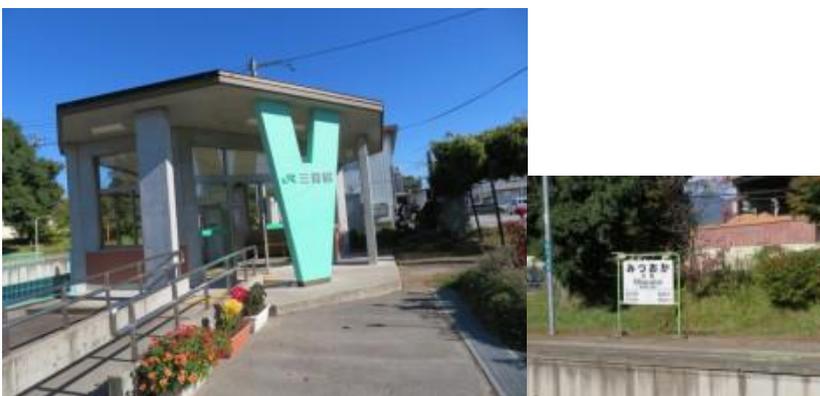


※乙女駅

③浅間山を鑑賞しながら鉄道の右側を淡々と歩く。13時58分、釜神踏切を横切り、鉄道の左側となる。14時6分、三岡踏切を横切って、右側を歩いた先に三岡駅（14時15分）があった。残念ながら、三岡駅界隈で、観光協会で頂いた地図をロストし、ここからは鉄道案内人（電柱はなく線路のみ）と第六感を頼りの歩きを余儀なくされる。



※浅間山、三岡踏切



※三岡駅

④14時21分、第1三岡踏切を横切って鉄道の左側となる。14時23分、小諸市美南が丘小学校歩道橋前を通過。その先で運よく小学生下校をお世話すると方に対面し美里駅への道筋をお伺いする機会を得る。「目の前の交差点を右折し、道なりに歩いた先にあります。コマヤマ鍛造工場が途中あります」と。運よくネットを見たのも功を奏した。もしネットを見ていなかったら、美里駅は未踏破となっていたかも知れない。胸を撫でおろす。教えてもらった通りに歩いた先にコマヤマ鍛造工場（14時51分）があった。途中、交差点があり迷う場面もあったが。美里駅には14時57分到着。この駅も道路から10m位下にあった。美里駅から線路に沿って浅間山を鑑賞できた。



※美里駅への路、美里駅



※美里駅、美里駅からの浅間山

⑤再度、途中迷いそうになった交差点まで引き返し、中佐都駅を目指す。ネットで時々確認しながら、淡々と鉄道の左側を歩く。15時18分、第1市村踏切を

横切り、鉄道の右側となる。その先で、暫く鉄道に沿った路筋がないので右往左往する。遠回り覚悟で歩く。間もなく稲収穫期を迎える田園地帯の中に鉄道に沿った道筋を見つけホッとする。くねくねした道筋を歩く。踏切遮断機の音が聞こえて来て安堵する。常田踏切手前に中佐都駅（15時44分）があった。



※第1市村踏切、リンゴ園、中佐都駅への路



※中佐都駅

⑥この踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。15時48分、しなの鉄道踏破の際、誤って来たと思われる道路が前方に現れる。その道路下を潜り、道路に沿った道筋を歩く。間もなく歩くと、高架した小海線が登場。道なりに歩いた先に佐久平駅（16時8分）があった。



※常田踏切、前方見覚えのある高架した道路、浅間山



※佐久平駅

⑦東横インホテルで汗を流したのち、ホテルで紹介された、そばダイニング“上仲屋”に17時53分出向き、本日の疲れを癒す。充実した一日であった。



※飲み比べで祝杯（深山桜、寒竹、牧水）

第4節 2日目：10月12日（火）：海尻～佐久平 曇り

2021年10月12日（火）曇り、小海線の旅の2日目は、海尻駅から佐久平駅までの営業キロ29.4kmに挑戦する。この季節、17時を過ぎると辺りが真っ暗になるので、何とか17時頃目途に佐久平駅に到着できるよう頑張る必要があった。本日のダイヤは佐久平駅始発（7時1分）で、海尻駅到着は8時12分であった。すなわち、約9時間で海尻駅から起算して17番目の佐久平駅に到着する必要があった。



※佐久平駅

JRの場合、通常1駅間隔は4km目途であるが、本日の区間は1.8kmと短く達成感を味わえた一方、駅舎を通り過ぎないように、細心の注意を要した。鉄道営業キロは最短のキロ数で、実際に鉄道つたい歩きする道筋は、川や山などで迂回を余儀なくされるため、順調に歩いても2割～3割増しの上乗せとなる。すなわち、35.3kmから38.2km位の距離を各駅舎立ち寄りにより歩く必要があった。

しかし、未知の道筋のため、ロスタイムが生じる恐れがある。少なくとも1時間位は見込む必要があった。それ故、通常の歩き方法だけでは到底間に合わないと考え、適宜ジョギングを取り入れて臨むことにした。道に迷う場面もあったが、下記の通り、概ね時間内に各駅舎立ち寄りをする事ができた。

佐久平駅から海尻駅まで車窓から歩く道筋を注視しながら移動する。沢山の高校生が各駅舎から乗車して来る。一番賑やかだったと思われる中込駅で沢山の高校生の乗車・下車がある。この駅舎で14分停車する。小諸行きの下り列車2

本と対向する。八千穂駅から少し山間となる。馬流駅でも沢山の高校生が下車する。小海駅から海尻駅にかけて、千曲川に沿って小海線は走ると同時に山間の道筋となる。小海駅でも沢山の高校生が下車する。小海駅から海尻駅までは2両編成車両の乗客は数名となる。佐久平駅では、座席は満席状態であったが。

各駅舎立ち寄り時刻は下記の通り。

海尻 (8:15) ~ 松原湖 (8:58) ~ 小梅 (9:53) ~ 馬流 (10:16) ~ 高岩 (10:47)
~ 八千穂 (11:20) ~ 海瀬 (12:10) ~ 羽黒下 (12:33) ~ 青沼 (13:08) ~ 白田
(13:32) ~ 龍岡城 (14:22) ~ 太田部 (14:54) ~ 中込 (15:21) ~ 滑津 (15:58)
~ 北中込 (16:28) ~ 岩村田 (17:16) ~ 佐久平 (17:31)



※海尻駅

①8時17分、101歩ある海尻橋（千曲川）を渡り、国道141号線（8時20分）に合流する。随時ジョギングをしながら、滑津駅位まで臨む。8時37分、海尻洞門を通過。8時44分、南牧村から小海町となる。山々は紅葉が始まっていた。国道から50m位下った先に松原湖駅（8時58分）があった。



※松原湖駅への路



※千曲川に面した国道 141 号線、南牧村から小海町へ



※松原湖駅



※松原湖駅、小海駅への路

②9時8分、小諸 42 km、佐久 24 km、佐久穂 13 kmと記した道路標識前を通過する。9時22分、曇り空から薄日空となる。9時33分、鎰掛洞門（かぎかけ：97歩）を通過。9時36分、国道141号線を右折し、万歩計で257歩ある小海大橋を渡る。途中、JRを跨ぎ、鉄道の右側となる。9時46分、小海中学校前を通過。9時51分、JR線を跨ぎ、鉄道の左側となる。塔が印象的な小海駅（9時53分）に到着する。駅前には商店街が広がっていた。その中で清水屋酒が印象に残った。



※千曲川を跨ぐ橋梁、小海大橋



※小海駅



※信州の酒（清水屋）

③鉄道に沿って淡々と歩く。10時1分、相木川（79歩）を渡る。運よく10時13分、馬流駅への案内板を見つけ、鉄道に近づく。10時16分、馬流駅に到着。駅舎のホームには秩父事件戦死者の墓の標識があった。近くに、今朝下車した高校の校舎は見つからず。



※馬流駅



※馬流駅

④千曲側と小海線の間にある道筋を歩く。10時30分、体長1m位の蛇を踏みそうになる。慌てて草村に退散する。10時31分、今にも落ちそうな岩の前を通過。10時39分、千曲川に跨る高岩橋を通過。その先に高岩駅（10時47分）があった。今思うと、落ちそうな岩が「高岩」かと。そして、駅名の由来も何となく理解できた。



※高岩、高岩橋



※高岩駅

⑤10時50分、第2高岩踏切を横切り、鉄道の右側となる。11時6分、樋ノ口踏切を横切り、鉄道の左側となる。丁度、小淵沢方面の列車(2両)がやって来る。11時12分、東京電力千曲事業所前を通過。商店街が広がる。11時20分、八千穂駅に到着。駅舎には白樺の作品が展示されていた。親切にも「記念写真を撮りましょうかのお声がかかる」。「お願いします」と対応。帽子などがPRになったのであろう。”カッシーチラシ”を手渡し、御礼を行って別れる。11時22分、八千穂駅界隈に”奥村土牛美術館”がある。立ち寄ろうと思ったが、時間の関係でパスする。この界隈でスマホのバッテリーが上がり、ナビの検索が不能となる。



※樋ノ口踏切、八千穂駅



※八千穂駅

⑥11時28分、井筒長、黒沢酒造前を通過。11時30分、下海瀬の標識前を通過。第六感でそろそろ海瀬駅と思い、鉄道に近づく。11時58分、佐久穂小学校・中学校があった。この学校先で運よく、小淵沢方面に向かう通行人の方と出会い、海瀬駅まで同行させて頂く。山の裾野にあり、この人に会っていなかったら、未踏破になる恐れもあった。感謝の気持ちで一杯となる。海瀬駅は、「[日本一海から遠い駅](#)」とあった。



※奥村土牛美術館、黒沢酒造、海瀬駅への路



※佐久穂小学校・中学校、海瀬駅



※海瀬駅

⑦12時23分、万歩件で43歩ある四ツ谷橋を渡る。まもなく商店街が広がる。12時33分、羽黒下駅に到着する。駅員方がおられ、「佐久市はどこからですか。佐久市の中心はどこですか」をお伺いする。「青沼から佐久市になります。かつては、佐久市の中心は中込であったのですが、段々と佐久平方面に移っているよう感じます」。「非常に勉強になりました」とお礼をいい、駅を後にする。



※羽黒下駅



※羽黒下駅、佐久市へ、六地藏

⑧12時36分、製材所前を通過。12時46分、佐久穂町から佐久市となる。その先に六地藏があり、その先を曲がった先に踏切がある。運よく、踏み切傍からホームが見えて来る。13時8分、そのホームが青沼駅であった。



※青沼駅

⑨鉄道に沿った左側（農道）をジョギングする。しかし、途中行き止まりとなる。民家の人と対面し、「線路を歩けば臼田駅に行けます」と回答があり。「線路はNGです」と。「少し遠回りとなりますが、幹線道路からも行けます」と。幹線道路を歩いた先に臼田駅（13時32分）があった。近くの山間にコスモタワーがあった。



※白田駅



※白田駅前、田口踏切（ロスタイムへの路）、農道を歩く

⑩龍岡城駅への道筋誤り、30分位ロスタイムが生じる。13時38分、田口踏切を横切り、鉄道の右側となる。線路に沿う路がなく1km位、線路に沿ってではなく、垂直に歩くことを余儀なくされる。たまたま、農道を歩く。しかし、袋小路になっており、引き返す場面も生じる。500m位歩いた先で、再度鉄道に近づく。途中、踏切があるがパスする。ここから500m行った先で、パニックになるような説明を頂く。ナビが使えないのが致命傷となった。「上の道路に出るか、500m位行った先の踏切を横切るか」。後者を選択する。今考えると直進しても行けたような気がする。第2雨作踏切を横切り、鉄道の左側になる。小淵沢方面の列車が踏切に近づくところであった。14時22分、龍岡城踏切を横切った先に龍岡城駅があった。白田駅から龍岡城駅までの1.2kmの区間に50分要する。



※リカバリー完了、遠くに龍岡城駅



※龍岡城駅

⑪鉄道を右手にして、くねくねした農道を歩く。14時48分、右手に千曲川があった。14時54分、太田部踏切を横切った先に太田部駅があった。



※千曲川、太田部駅



※太田部駅、中込駅への路

⑫15時4分、紅葉が綺麗な街並みを歩く。15時14分、小諸14km、白樺湖41km、諏訪62kmと記した道路標識前を通過。間もなく歩くと、中込駅への案内板がある。そして右折して暫く歩いた先に中込駅（15時21分）がある。この駅前には本日歩いた中で、最も賑やかな駅前風景であった。



※中込駅



※中込駅

⑬15時41分、旧中込学校案内板前を通過。くねくねした道筋を進む。そろそろ滑津駅と思い右折し、線路に近づこうとする。しかし、線路は見当たらず。運よくと犬を散歩させている方と対面する。「右手に歩いて少し歩いた先にあります」と教えて頂く。感謝の気持ちで一杯となる。教えてもらった先に滑津駅（15時58分）があった。



※旧中込学校、滑津駅



※滑津駅

⑭16時、甲州街道踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。16時3分、滑津橋(72歩)辺りで小雨模様となるが、暫く歩いた先で止む。16時18分、佐久市役所前を通過。16時28分、第1北中込踏切を横切った先に北中込駅があった。



※滑津橋、佐久市役所



※北中込駅

⑮16時47分、万歩計で117歩ある湯川橋を渡る。辺りは薄暗くなる。16時56分、小諸方面と記した道路を歩いた先で小梅線を跨ごうとする。第六感でおかしいと察知し、50m位戻った先で鉄道に沿った路筋を歩く。結果大成功であった。しかし、辺りは暗くなり、線路が見えない。運よく通行人の方に出会い、岩村田駅への道筋を教えて頂く。「初めての信号を左折し、踏切を横切り、そして次の信号を右折して暫く歩いた先に岩村田駅があります」と教えて頂く。感謝また感謝の気持で一杯となる。17時、踏切を横切り、教えてもらった道筋の先に岩村田踏切があり。その踏切を横切った右側に岩村田駅（17時16分）があった。沢山の高校生が列車を待っていた。

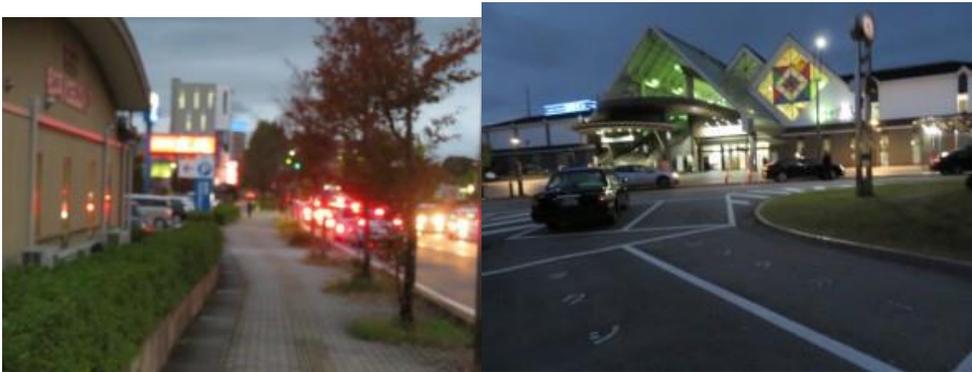


※娘の名と同じ活字に感動！！、誤って鉄道を渡ろうとする



※岩村田駅

⑩高校生に佐久平駅の道筋を確認し、鉄道の右側を淡々と歩く。暫く歩くと、青いネオンの東横インビルの看板が見えて来、安堵する。佐久平駅には17時31分到着する。万歩計は63,116歩であった。



※遠くに東横イン、佐久平駅

⑪ホテルには17時39分到着。汗を流した後、昨日参上した上仲屋に出向き本日の疲れを癒す。



※本日は深山桜、亀の海、菊秀で祝杯！！